

■「卒業研究 II」ルーブリック (2026-03-25 第 678 教室会議承認)

評価観点	関与 (満点)	優 (100%)	良 (80%)	可 (60%)	不可 (0%)
A2 情報工学分野の専門知識を身につけている。 【研究活動・ディスカッション・成果】	◎ (30)	十分なディスカッションおよび <u>積極的な研究活動</u> を通して、 <u>広範な専門知識と高度な応用</u> にもとづき、 <u>社会的な意義に配慮しながら</u> 、 <u>具体的内容を伴った質の高い研究成果</u> を得た。(30)	<u>定期的なディスカッション</u> および <u>積極的な研究活動</u> を通して、 <u>一定の専門知識と応用</u> にもとづき、 <u>具体的内容を伴った研究成果</u> を得た。(24)	<u>一定の専門知識</u> および <u>ディスカッションのもと</u> 、 <u>限定的ながら具体的内容を伴った卒業研究成果</u> を得た。(18)	研究活動が <u>見られず</u> 、卒業研究としての <u>成果がなかった</u> 。(0)
B2 情報工学分野の課題の背景を理解し、自らアイデアを考案できる。 C1 自主的に学習を継続することができる。 D3 情報工学の知識を応用して計画的に仕事を進め、社会の要求を解決する基礎能力を身につけている。 【卒業研究】 (創造・解決・比較)	◎ (20)	卒業研究を計画的に進め、研究に必要な情報を <u>自主的に</u> 取得し、 <u>さまざまな知識</u> を応用して、 <u>複数のアイデア</u> を考案すると共に、 <u>幾つかの解決法</u> を見出して、 <u>客観的評価のもとで優劣を比較</u> した。(20)	卒業研究を計画的に進め、研究に必要な情報を <u>指示のもとで</u> 取得し、 <u>一定の知識</u> を応用して、 <u>アイデアを考案</u> すると共に、 <u>解決法</u> を見出して、 <u>優劣を比較</u> した。(16)	卒業研究に必要な情報の取得、知識の応用、 <u>アイデアの考案が十分ではないものの</u> 、 <u>一定の解決法</u> を見出した。(12)	卒業研究に必要な情報の取得はおろか、知識を応用して <u>解決法を見出すことはできなかった</u> 。(0)
D1 日本語による記述力、発表力、コミュニケーション能力を身につけている。 【卒業論文】	◎ (20)	研究目的・ <u>社会的意義</u> ・研究内容・成果物に対する <u>十分な評価</u> などが <u>客観的かつ明瞭</u> に書かれており、一般的な学術論文と比べて遜色ない <u>論理的な構成と文法的に正しい表現</u> 、読者の理解に <u>十分に配慮</u> して記述できている。(20)	研究目的・ <u>社会的意義</u> ・研究内容・成果物に対する評価などが <u>明瞭</u> に書かれており、一般的な学術論文の構成と <u>文法的に正しい表現</u> 、読者の理解に <u>配慮</u> して記述できている。(16)	研究目的・研究内容・成果物に対する評価などの記述が <u>十分ではないものの</u> 、一般的な学術論文の構成を持ち、 <u>論旨の誤解を招かない程度に文法的に正しい表現</u> で記述できている。(12)	卒業論文としての <u>体裁をなしておらず</u> 、 <u>文法的に正しくない表現や記述内容の間違い</u> が散見される。(0)

※100%, 80%, 60%, 0%以外の中間的な割合としてもよい。

更新履歴

2026-03-25 評価観点【研究活動・ディスカッション・成果】の「優」「良」の項目を変更した。

2026-03-25 評価観点の文言を JABEE 学習・教育到達目標から学科ディプロマポリシーに変更した。

2021-11-24 秋学期の中間発表が廃止されたことを受け、C3 の満点の得点を 20 点→30 点とした。それに伴い、100%, 80%, 60%時の得点も変更した。

2021-02-17 「※100%, 80%, 60%, 0%以外の中間的な割合としてもよい。」及びリビジョン番号を追加した。